

企画提案書

1. パリ市 15 区への青年海外派遣事業の趣旨理解について

本事業では、成熟した国際都市である港区とパリを「伝統の継承と革新」という視点で比較し、次世代に必要な広い視野を養います。フランスの価値観に触れることで日本文化を客観的に再発見し、多様な人々が共に生きる「多文化共生」を理解するプログラムを目指します。

コンセプト:フランスを知り日本を知る～多文化共生意識の醸成へ向けたプログラムといたします。

2. 具体的なプログラム

【プログラム①】歴史的建造物の保存と再生:記憶の継承

【プログラム②】王宮から美術館へ:芸術をひらく心

【プログラム③】都市の多様性を理解:伝統と自由が息づく街の体感

【プログラム④】庭園と建物:対照的な自然観

【プログラム⑤】食文化:職人技と日常の豊かさ

3. 事前研修プログラム:現地での発見を最大化する準備

港区様が考える事前研修プログラムを基本とし、弊社で提案可能な内容を3回のプログラムの中でご提案いたします。より効果が出るように弊社の知見、ネットワークを生かした事前研修を取り入れてまいります。また、より効果を生みそして現地で役立つようなテキスト、資料を作成、取り寄せし配布いたします。

4. 事後報告会について:「リサーチから実感へ」

本事業の締めくくりとして、参加者が事前研修で立てた「問い」に対し、現地での経験を通じて得た「答え」を発表する報告会を開催いたします。単なる感想の発表に留まらず、事前研修から積み上げてきた学習の成果を、プレゼンテーションにて発表していただきます。

5. 効果検証:成長と意識変容の可視化(多角的アンケート)

「前・後・後」の比較分析:「事前研修前」「現地出発直前」「報告会終了後」の3回にわたり、共通項目でアンケートを実施。知識の量、多文化共生への関心、発信への自信がどう向上したかを数値化し、成長の軌跡をグラフで可視化します。

行動変容の把握:研修全体を通じ、「自ら調べ、発信する姿勢(主体性)」が日常生活にどう波及したかを検証。本人に加え、保護者アンケートも併用することで、客観的な成長の証跡をまとめます。

6. 安全対策

本事業では、外務省や現地機関からの最新情報を常時収集し、安全を最優先に実施します。万が一の体調不良やトラブルに備え、参加者全員に治療・救済者費用無制限の海外旅行保険に加入いたします。現地には経験豊富な添乗員や専門の現地サポートスタッフと緊密に連携し、派遣期間中の安全確保と迅速な危機管理対応に万全を期します。